

鹿児島県感染症情報

2010年 第26週報 (6月28日~7月4日)

発行：鹿児島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/index.html>》

県内にヘルパンギーナの流行発生警報が発令中です。夏季に流行する疾患のため、今後の動向に十分注意して予防対策に努めましょう。

★鹿児島県におけるヘルパンギーナの発生動向と予防対策

前週に引き続き県内に流行発生警報が発令中です。今年の発生状況は、2007年より早く流行の兆しが認められ、19週以降は8週連続で増加が続いています。今週の報告数は、前週(253人)より10人多い263人(定点当たり報告数4.78)に増えていますが、前週に比べ増加幅は小さくなっています。保健所別では、鹿児島市(11.08)、川薩(8.75)、指宿(6.00)保健所からの報告が多くなっています。ヘルパンギーナは、手足口病や咽頭結膜熱と同様に夏季に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎(いわゆる夏かぜ)です。原因となる病原体は、コクサッキーA群ウイルスをはじめとしたエンテロウイルス属で、潜伏期間は2~6日程度とされています。症状は、突然の発熱に続き、口腔内に小水疱が出現し、それが破れて潰瘍を形成するため、喉の痛みを伴います。この痛みの影響から不機嫌、拒食、哺乳障害を認め、脱水症状を呈することもあるため、こまめに水分補給することが大切です。ほとんどは予後良好ですが、まれに無菌性髄膜炎や急性心筋炎などを引き起こすこともあるので、早めに医療機関を受診しましょう。予防対策は、徹底した手洗いが基本です。患者からは症状が落ち着いた後も1ヶ月近くウイルスが排出されることがあります。患者はもちろん、特に、介護の人(おむつの交換後等)は意識して手洗いを心がけましょう。

腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の報告数が増加してきています。特に22週以降は、5週連続で報告されており、今後の動向には注意して予防対策に努めましょう。

★鹿児島県における腸管出血性大腸菌感染症の発生動向と予防対策

2010年における県内の腸管出血性大腸菌感染症は、今週の報告数(2例)を含めて、17例報告されています。特に、第22週以降は5週連続で報告され、6月だけで9例の報告数となっています。今後の発生動向に注意して、予防対策に努めてください。予防対策としては、気温の上昇と共に細菌が繁殖しやすい環境が整うため、食品の温度管理に努め、こまめに手洗いすることが大切です。

上位3疾患以外の定点把握対象疾患では、水痘、手足口病は前週より減少していますが、例年より伝染性紅斑の報告数が多くなってきています。今後の動向に注意が必要です(p3を参照)。

☆一~五類感染症(全数報告疾病)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 9例(肺結核5例, 結核性胸膜炎2例, 頸部リンパ節結核1例, その他の結核1例)
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2例, 血清型/毒素型:O157/VT2(1例), 0不明/VT1(1例)
四類感染症	つつが虫病 1例
五類感染症	発生報告なし

☆定点報告疾病の発生状況

・第26週の定点把握対象疾病の総報告数は924人で、第25週より59人少なかった。また、定点当たりの報告数は、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の順に多かった(詳細については後述)。

・流行発生警報の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所

【ヘルパンギーナ(開始6.0, 終息2.0)】: 鹿児島市(11.08), 川薩(8.75), 指宿(6.00), 始良(4.43)

【手足口病(開始5.0, 終息2.0)】: 川薩(4.50), 鹿屋(3.60), 西之表(3.00), 出水(2.33)

【伝染性紅斑(開始2.0, 終息1.0)】: 指宿(2.50), 始良(2.43)

・流行発生注意報の基準値以上の保健所

【水痘(基準値4.0)】: 川薩(4.25)

※ (数値) は定点当たり報告数

※ アンダーラインは今週基準値以上の保健所

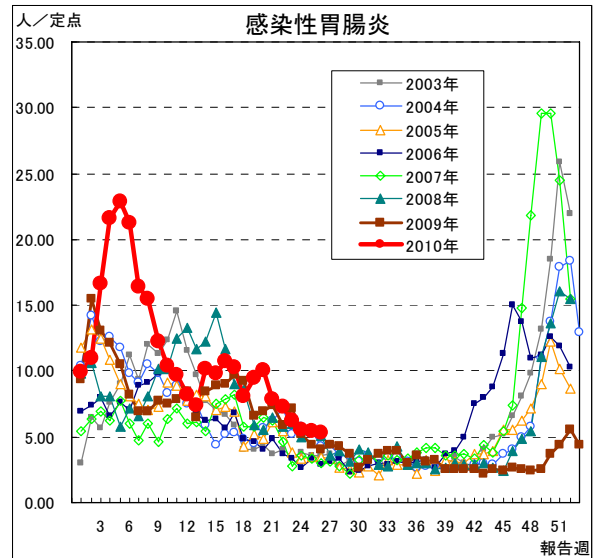
☆定点報告疾病（定点当たり報告数の上位3疾病の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第26週の感染性胃腸炎の報告数は291人で、前週より9人少なく、定点当たりの報告数は5.29であった。報告数は、21週以降6週連続で減少している。

年齢別では、20歳以上（38人）、10～14歳（37人）、1歳（35人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所（10.50）、始良保健所（10.29）、志布志保健所（9.00）が多い。

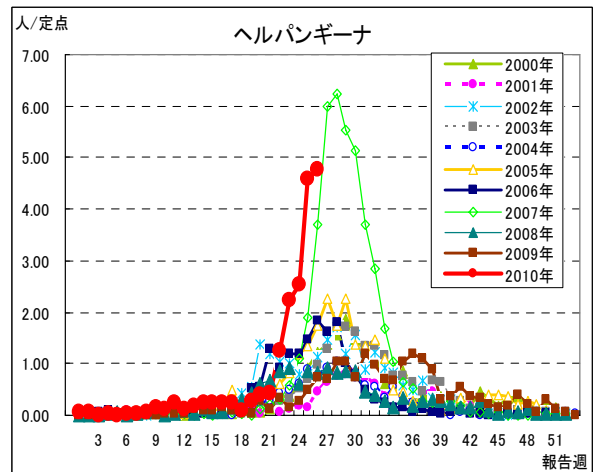


(2) ヘルパンギーナ

第26週のヘルパンギーナの報告数は263人で、前週より10人多く、定点当たりの報告数は4.78であった。報告数は8週連続で増加を認めているが、今週の増加幅は前週に比べると小さくなっている。

年齢別では、1歳（91人）、2歳（49人）、3歳（37人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（11.08）、川薩保健所（8.75）、指宿保健所（6.00）が多い。始良保健所（4.43）は4週連続、鹿児島市保健所は3週連続、川薩保健所は2週連続、今週から指宿保健所が流行発生警報の基準値以上である。

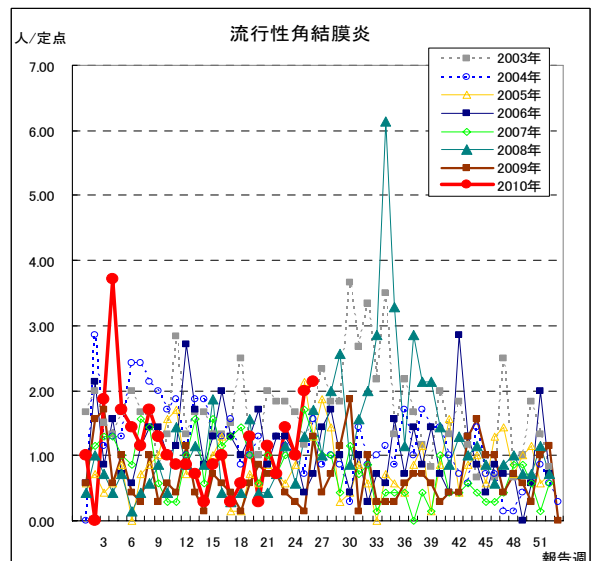


(3) 流行性角結膜炎

第26週の流行性角結膜炎の報告数は15人で、前週より1人多く、定点当たりの報告数は2.14であった。ここききて増減を繰り返しながら増加傾向を示しているため、今後の動向に注意が必要である。

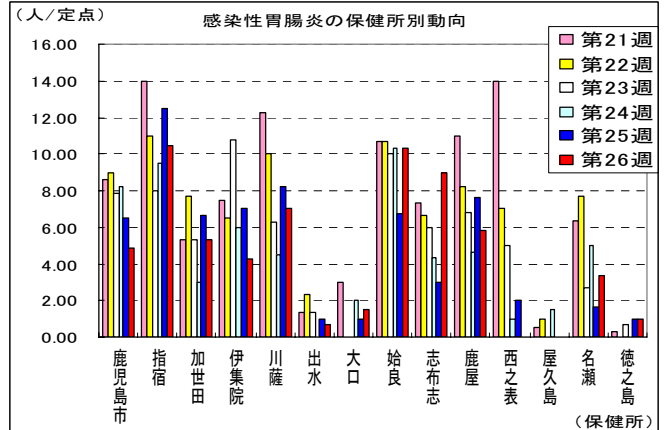
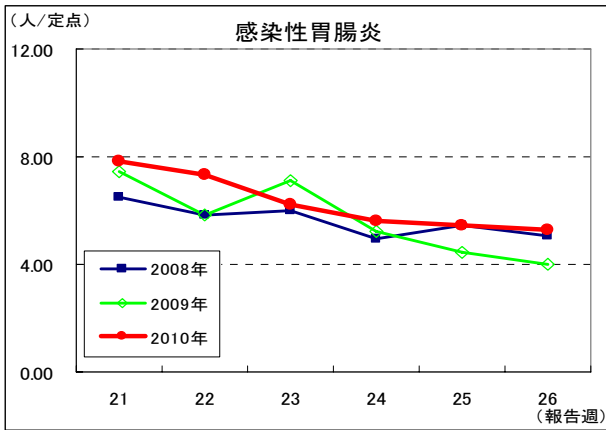
年齢別では、30～39歳（5人）、40～49歳（3人）、4歳と20～29歳（それぞれ2人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（3.50）、始良保健所（1.00）からの報告であった。

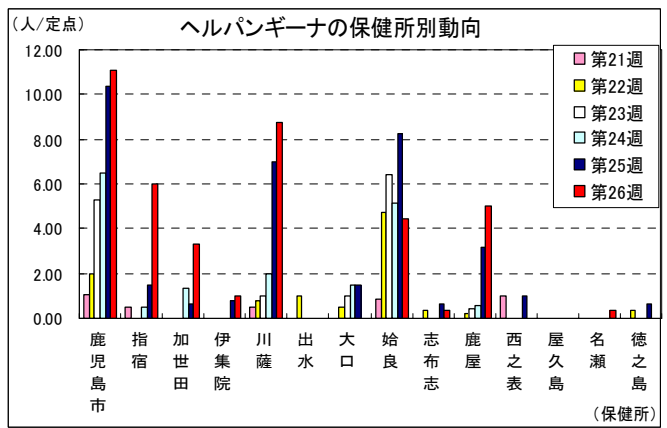
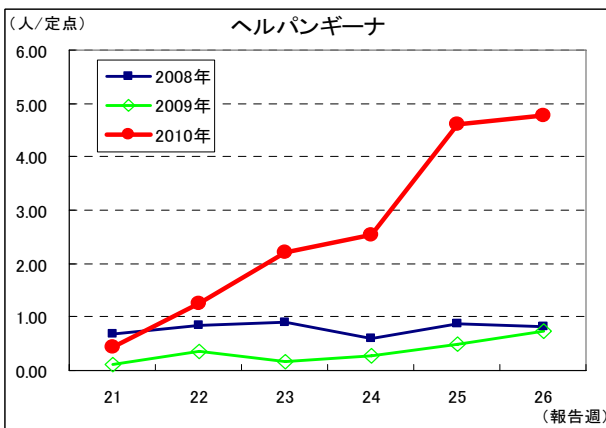


☆上位3疾病の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

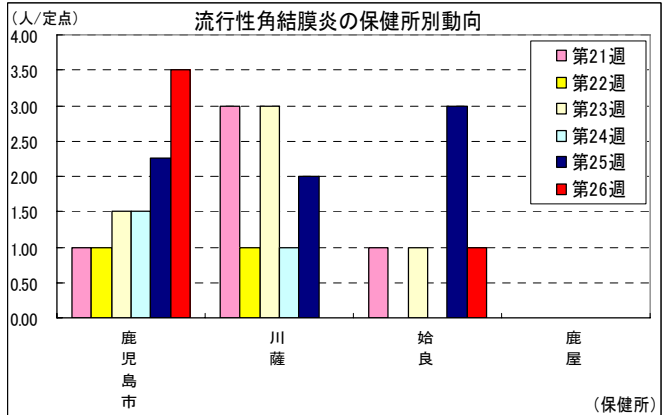
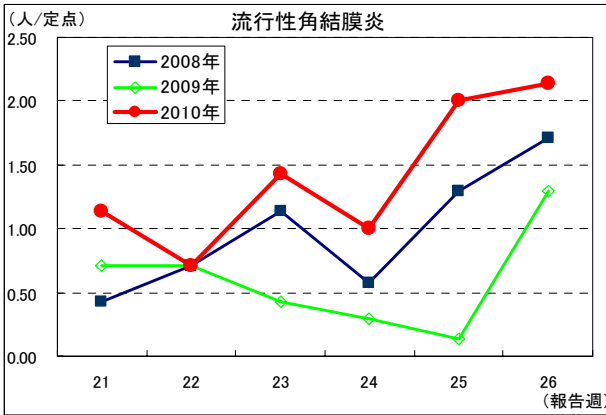
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) ヘルパンギーナ (流行発生警報は開始基準値 6.0 以上)

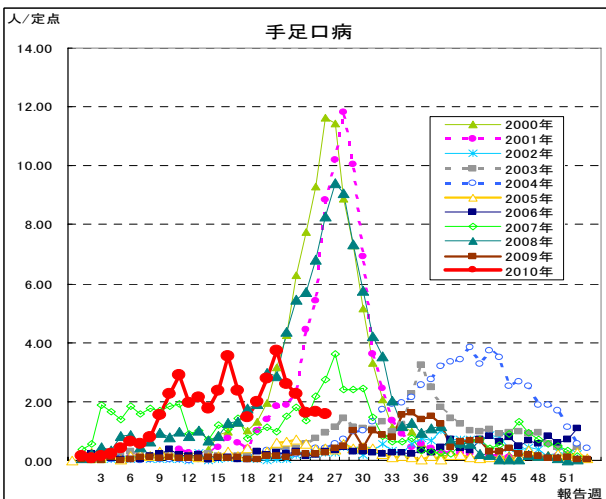


(3) 流行性角結膜炎 (流行発生警報は開始基準値 8.0 以上)

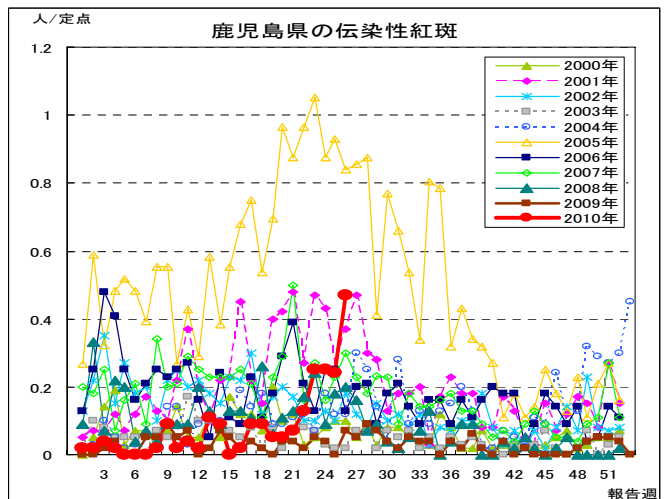


☆注目される感染症の発生状況

★手足口病の発生状況 (鹿児島県)



★伝染性紅斑の発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾病の発生状況

2010年	(報 告 週)	第 26週
-------	---------	-------

定点種別	定点報告疾病	報告数	定点当り	累積報告数 (2010年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	○ インフルエンザ	8	0.09	6,146
小児科定点	○ RSウイルス感染症	7	0.13	954
	咽頭結膜熱	19	0.35	586
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	0.82	1,793
	感染性胃腸炎	291	5.29	15,920
	水痘	88	1.60	4,242
	手足口病	87	1.58	2,396
	○ 伝染性紅斑	26	0.47	121
	突発性発しん	28	0.51	732
	百日咳	-	0.00	26
	○ ヘルパンギーナ	263	4.78	1,023
	流行性耳下腺炎	45	0.82	996
	眼科定点	急性出血性結膜炎	-	0.00
○ 流行性角結膜炎		15	2.14	212
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.00	1
	無菌性髄膜炎	-	0.00	2
	○ マイコプラズマ肺炎	2	0.17	41
	クラミジア肺炎	-	0.00	2
報 告 数 合 計		924		35,194

○印は前週比増

☆5週間前からの疾病別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2010年21週)	4週前 (2010年22週)	3週前 (2010年23週)	2週前 (2010年24週)	1週前 (2010年25週)	今週 (2010年26週)
インフルエンザ	報告数	12	8	9	15	5	8
	定点当り	0.13	0.09	0.10	0.16	0.05	0.09
RSウイルス感染症	報告数	7	16	6	10	6	7
	定点当り	0.13	0.29	0.11	0.18	0.11	0.13
咽頭結膜熱	報告数	37	33	31	16	24	19
	定点当り	0.67	0.60	0.56	0.29	0.44	0.35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	67	77	84	74	56	45
	定点当り	1.22	1.40	1.53	1.35	1.02	0.82
感染性胃腸炎	報告数	432	403	343	308	300	291
	定点当り	7.85	7.33	6.24	5.60	5.45	5.29
水痘	報告数	207	128	146	105	122	88
	定点当り	3.76	2.33	2.65	1.91	2.22	1.60
手足口病	報告数	205	143	124	88	91	87
	定点当り	3.73	2.60	2.25	1.60	1.65	1.58
伝染性紅斑	報告数	4	7	14	14	13	26
	定点当り	0.07	0.13	0.25	0.25	0.24	0.47
突発性発しん	報告数	29	18	34	29	38	28
	定点当り	0.53	0.33	0.62	0.53	0.69	0.51
百日咳	報告数	-	1	1	3	-	-
	定点当り	-	0.02	0.02	0.05	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	24	69	122	139	253	263
	定点当り	0.44	1.25	2.22	2.53	4.60	4.78
流行性耳下腺炎	報告数	36	48	45	38	60	45
	定点当り	0.65	0.87	0.82	0.69	1.09	0.82
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.14	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	8	5	10	7	14	15
	定点当り	1.14	0.71	1.43	1.00	2.00	2.14
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	4	1	-	1	2
	定点当り	0.25	0.33	0.08	-	0.08	0.17
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2010年26週(平成22年6月28日～平成22年7月4日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	8	0.09	7	0.13	19	0.35	45	0.82	291	5.29	88	1.60	87	1.58	26	0.47	28	0.51
鹿児島市	1	0.04	4	0.31	8	0.62	16	1.23	63	4.85	31	2.38	28	2.15	4	0.31	7	0.54
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	21	10.50	1	0.50	3	1.50	3	1.50
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	16	5.33	-	-	5	1.67	-	-
伊集院	-	-	-	-	2	0.50	1	0.25	17	4.25	6	1.50	-	-	-	-	1	0.25
川薩	-	-	1	0.25	1	0.25	13	3.25	28	7.00	17	4.25	18	4.50	-	-	2	0.50
出水	-	-	-	-	2	0.67	7	2.33	2	0.67	1	0.33	7	2.33	-	-	1	0.33
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.50	1	0.50	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	2	0.29	4	0.57	1	0.14	72	10.29	9	1.29	1	0.14	17	2.43	8	1.14
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	27	9.00	4	1.33	2	0.67	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	2	0.40	4	0.80	29	5.80	14	2.80	18	3.60	-	-	5	1.00
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	3	3.00	-	-	1	1.00
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	1	0.33	10	3.33	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-
徳之島	7	1.40	-	-	-	-	-	-	3	1.00	2	0.67	-	-	-	-	-	-

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	263	4.78	45	0.82	0	0.00	15	2.14	0	0.00	0	0.00	2	0.17	0	0.00
鹿児島市	-	-	144	11.08	29	2.23	-	-	14	3.50	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	12	6.00	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	10	3.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	35	8.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	31	4.43	1	0.14	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	25	5.00	4	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-
屋久島	-	-	-	-	2	1.00
名瀬	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	1	0.33

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2010年26週(06月28日～07月04日)

(インフルエンザ定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ 報告数	8	-	-	-	-	1	-	-	3	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ 定点当り	0.09	-	-	-	-	0.01	-	-	0.03	0.01	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
(小児科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症 報告数	7	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症 定点当り	0.13	0.02	0.04	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 報告数	19	-	2	10	1	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 定点当り	0.35	-	0.04	0.18	0.02	0.02	0.05	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 報告数	45	-	-	1	8	4	5	8	6	6	3	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点当り	0.82	-	-	0.02	0.15	0.07	0.09	0.15	0.11	0.11	0.05	0.02	0.04	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 報告数	291	4	18	35	33	30	21	23	13	10	14	11	37	4	38	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 定点当り	5.29	0.07	0.33	0.64	0.60	0.55	0.38	0.42	0.24	0.18	0.25	0.20	0.67	0.07	0.69	-	-	-	-	-	-
水痘 報告数	88	-	3	21	19	21	13	8	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘 定点当り	1.60	-	0.05	0.38	0.35	0.38	0.24	0.15	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病 報告数	87	-	5	12	18	15	8	15	5	3	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病 定点当り	1.58	-	0.09	0.22	0.33	0.27	0.15	0.27	0.09	0.05	0.05	0.04	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 報告数	26	-	1	-	-	2	5	6	4	3	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 定点当り	0.47	-	0.02	-	-	0.04	0.09	0.11	0.07	0.05	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 報告数	28	2	12	12	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 定点当り	0.51	0.04	0.22	0.22	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 報告数	263	7	16	91	49	37	31	17	9	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 定点当り	4.78	0.13	0.29	1.65	0.89	0.67	0.56	0.31	0.16	0.05	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 報告数	45	-	-	3	6	6	10	4	6	-	3	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 定点当り	0.82	-	-	0.05	0.11	0.11	0.18	0.07	0.11	-	0.05	0.02	0.07	-	0.04	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎 報告数	15	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	2	5	3	-	-	-	-
流行性角結膜炎 定点当り	2.14	-	-	0.14	0.14	-	0.29	-	-	-	-	0.14	-	-	0.29	0.71	0.43	-	-	-	-
(基幹定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 報告数	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 定点当り	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-